

会 議 録

会議の名称	平成 18 年度第 10 回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成 1 9 年 3 月 3 日 ( 土 ) 午前 9 時 30 分 ~ 12 時 00 分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	湊 貞一委員、荒田 勝代委員、沼田 定次委員、 岸 信次委員、岩田 仁委員、森本 扶委員、 澤村 幹子委員、塩入たま江委員  事務局 ( 朝倉社会教育課長、佐藤主査、荒居主任 )
欠席者	西島 雅代委員、山口 靖雄委員、
公開・非公開	公開 ( 傍聴人 0 人 )
会議次第	議長あいさつ 報告事項 1 地域や所属団体などについての情報交換  協議事項 1 研究協議 今期の研究協議について ~子どもたちを地域で健やかに育てる~をキー ワードに 2 その他
会議資料	各公民館だより 前回会議録 「いじめ」に関する協議資料 生活実態調査の結果 「いじめ問題」報告 資料館友の会だより
会議録確認	沼田 定次委員

## 会 議 内 容 ( 要 点 記 録 )

### < 報告事項 >

#### 1 地域や所属団体などについての情報交換

( 委員 ) 人間地区社会教育協議会社会教育委員部会が開催され、各市町の会議状況についての報告があった。

( 委員 ) 第 1 2 回人間地区生涯学習フォーラムが、「地域の教育力の向上をめざして」をテーマに、飯能市で開催され、委員 4 人が参加した。

( 委員 ) 地域自治シンポジウムが、「安心して暮らせる街づくりをめざして」をテーマに針ヶ谷コミュニティセンターで開催された。

### < 協議事項 >

#### 1 今期の研究協議について ~ 子どもたちを地域で健やかに育てる ~ を当面のキーワードに

( 委員 ) いじめについては 2 月の会議で議論したが、その内容を資料のとおりまとめてみた。他の委員からもいじめについて意見が出されているので、そのことも含め、自由な意見交換をしたい。

( 委員 ) 資料に提出したように「いじめ問題」について、報告にまとめた。内容は、現代型いじめの構造、行われている対応策、社会教育としての課題などである。議論の参考にしてほしい。

( 委員 ) 資料にある「学校に共同体全体主義的な役割を担わせている国と勉強に特化した予備校型の国」との表現があるが、どういうことか。

( 委員 ) 子どもたちにはいろんな所属集団がある。学校は勉強 ( 学習活動 ) に特徴があるが、ドイツは、地域活動が活発で、地域クラブに所属し活動して、学校以外の時間が重視され、多様な場所がある。学校に期待されている日本とは違い、分化されている。

( 委員 ) 学校の機能は勉強、生活は違う場であるということもある。学級担任制には功罪がある。担任の影響力もあるが、学校生活を一身に背負っているのはたいへんである。

( 委員 ) 知・徳・体の三育は学校からということもあるが、「知」を特にやる学校という考え方もあると思う。

( 委員 ) 学校にすべてのことを担わせるという意味での共同体全体主義的な役割を担わせているのが、日本の特徴で、その中でできることはあると思う。資料のように、一気に構造的改革は無理であると思う。

( 委員 ) 小中学校の教育は均一化されているが、人間教育には個を大切にすることを理解させていくことも大事という考えもあるのではないか。

(委員) 参入離脱の自由があってもいいのではないか。

(委員) トラブルといじめの線引きが難しい。トラブルがないことはありえない。いじめはどんな形の場にもあるという認識でいる。集団が大きければあるものであるし、構造を変えてもなくなるものではないものではないかと考える。学校にすべてを背負わせて、教師がすべて解決するというのではない。これまでも部活動の加入自由制などしてきたが、帰宅する子どもの受け皿がなく、もう一度学校に戻している。

(委員) 社会教育での受け皿が脆弱で、いまは学校の中で受け止めるしかない。

(委員) 県のニュースに地域の子育て情報が掲載されていたが、富士見市の情報は不足していた。もう少し提供すべきではないか。

(委員) 子どもたちも「消費者」であると考えれば、教師が子どもたちをひきつけるところがあるのか、役立つのかを子どもたちも考える。賢い消費者心理を持っているところがある。教師がスーパーマンになることを求められると際限がないが。

いじめ対策として以上のような、意見交換を行った。

### 3 その他

(1) 次回会議日程 4月7日(土) 午前9時30分より 教育委員会会議室

以上